



週間情報



No.0146

発行日 令和元年12月10日

発行所 全国消防長会
一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 第110回全国消防長会予防委員会を開催

全国消防長会予防委員会

令和元年11月7日（木）、福岡県大牟田市（ホテルニューガイアオームタガーデン）において、第110回全国消防長会予防委員会を開催しました。

会議における議案等の項目は、次のとおりです。

【議案】

- 1 「防火対象物点検資格者の不適正点検に対する指導指針」及び「防災管理点検資格者の不適正点検に対する指導指針」の運用について
- 2 次期開催地について

【情報交換】

- 1 女性防火クラブ等の設置及び活動状況、それに係る消防本部の取組について
- 2 外国人労働者及び外国人居住者に対する防火指導について
- 3 建築基準法の一部改正による消防法令遵守の有効かつ具体的方策について
- 4 火災調査における知識・技術等の伝承及び業務の効率化の方策について
- 5 消防用設備等の点検報告率の向上等について

【情報提供】

- 1 東京都火災予防条例第23条第2項に基づき設置する標識の変更について
- 2 電気製品火災を的確に把握するための調査体制の試行について
- 3 子供たちの防火・防災教育のための絵本の製作について
- 4 消防局とホテル協会が連携した取組について
- 5 VR（仮想現実）を活用した体験型の防災学習について
- 6 株式会社レオパレス21に対して千葉県内消防本部の総意として指導文書を交付
- 7 令和元年消防研究センター事業について
- 8 日本消防検定協会の業務紹介（屋外警報装置等に係る品質評価業務について）
- 9 住宅用火災警報器2019年度交換促進広報展開 進捗状況について
- 10 （公財）日本防災協会の事業取組状況について
- 11 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ
- 12 住宅防火対策推進協議会の広報事業等について
- 13 予防技術検定に係る受検準備講習会の実施等について
- 14 京都アニメーション第1スタジオ火災について
- 15 総務省消防庁からの情報提供

予防行政（課題と対応）

総務省消防庁予防課長 白石 暢彦 氏



【委員会の様子】

◆ 第68回全国消防長会危険物委員会を開催

全国消防長会危険物委員会

令和元年11月12日（火）、兵庫県高砂市（ウェディングパレス鹿島殿）において、第68回全国消防長会危険物委員会を開催しました。

会議における議案等の項目は、次のとおりです。

【議案】

- 1 ガソリンの詰め替え販売への対応及び乗用車における運搬基準について
- 2 運搬容器に該当しない機械器具類の危険物の運搬について
- 3 UN表示が付された運搬容器に係る規制について
- 4 屋内貯蔵所における移動式架台の設置基準について
- 5 次期開催地について

【情報提供】

- 1 石油コンビナート行政のうごき
- 2 消防研究センターの体制と事業概要について
- 3 移動タンク貯蔵所の保安体制強化等の推進状況について
- 4 震災時のガソリンスタンド営業継続判断支援ツール及び東京消防庁公式アプリについて
- 5 危険物屋外タンク貯蔵所で発生した爆発火災事故について
- 6 危険物保安技術協会から情報提供
- 7 一般財団法人全国危険物安全協会から情報提供
- 8 危険物取扱者試験の現況と受験者増加対策への取組について



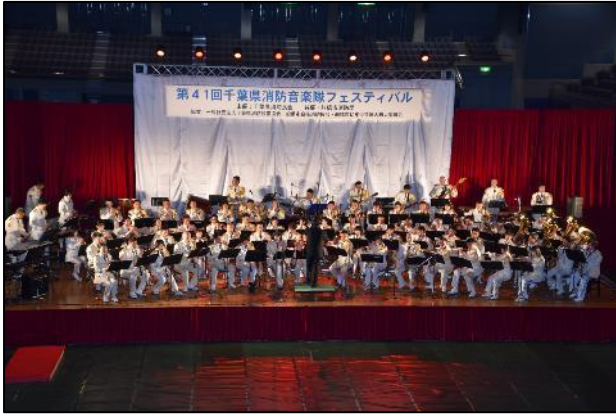
【委員会の様子】

◆ 第41回千葉県消防音楽隊フェスティバルを開催

千葉県消防長会

千葉県消防長会では、令和元年11月30日（土）、船橋アリーナ（船橋市総合体育館）において、第41回千葉県消防音楽隊フェスティバルを開催しました。

このフェスティバルは、昭和54年から毎年1回、参加消防本部の輪番で開催しており、今回は12の消防音楽隊が参加しました。各音楽隊を4つのグループに編成し合同でクラシック、歌



【合同演奏の様子】

謡曲、アニメーションソングなどを演奏しました。さらに、音楽隊員・消防団員による火災・地震発生時の対応要領、胸骨圧迫方法の展示、消防団加入促進などの消防広報を行いました。

また、ゲストとして船橋市立高根中学校吹奏楽部の特別出演もあり、参加隊員を含め1,300人を超える来場者とともに大盛況のうちに幕を閉じました。

今後も、フェスティバルを通じて、消防音楽隊が奏でるメロディにのせた火災予防普及啓発活動などを展開してまいります。

消防本部の動き

行事

◆ 第2回消防士の台所 in 真庭を開催

真庭市消防本部（岡山）

真庭市消防本部では、令和元年11月24日（日）、当消防本部敷地内において、消防士の料理イベント「第2回消防士の台所 in 真庭」を開催しました。

このイベントは、昨年7月の西日本豪雨災害をきっかけに、身近な食を通して住民との交流を深め、「楽しみながらも防災意識を高める取組」、中山間地域の課題を解決するために「地域に賑わいを生む取組」、「持続可能な開発目標（SDGs）の取組」として企画しました。

イベントでは、市内外から約1,000人が訪れ、カレーライス、オムライスなどは予定の400食が即完売。収益は全額、台風第19号災害義援金に充てました。

また、岡山県内の5つの消防本部と連携した消火器訓練、救急体験及び煙中避難体験といった防災体験ブースも大盛況でした。消防車の綱引き対決や女性消防吏員のPRも行い、消防を身近に感じてもらえるよう工夫しました。

今後も、市民と交流を深めながら防災意識をより一層高めていく取組を継続し、県内消防の連携強化にもつなげてまいります。



【イベントの様子】

◆ 箕面警察署・箕面市消防本部歳末特別警戒部隊合同発隊式を開催

箕面市消防本部（大阪）

箕面市消防本部では、令和元年11月30日（土）、箕面市芦原公園において、箕面警察署と合同で歳末特別警戒部隊合同発隊式を開催しました。式典は平成20年から毎年開催し、今年で12回目となります。

この式典は、防犯・防災を担う行政が、強力なタッグの実現を市民へ示すことにより、安心感を与え、地域における支え合いの足がかりとなるよう実施しています。

また、歳末の繁忙期を迎えるにあたり、警察・消防機関が歳末特別警戒の開始を合同で実施することにより、それぞれ異なる業務を担う組織が緊密に連携し、「安全・安心のまちづくり」を推進するための決意を新たにします。

令和元年も残すところあとわずかとなりました。箕面市の安全と安心のため、警察と消防はこれからも一丸となって防犯・防災に取り組みます。



【発隊式の様子】

訓練・演習

◆ 東濃地区救助技術交換会を開催

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和元年11月25日（月）、岐阜県東濃地区5市消防本部（中津川市消防本部、多治見市消防本部、瑞浪市消防本部、恵那市消防本部、土岐市消防本部）合同で、救助技術の向上を目的とした救助技術交換会を開催しました。

この交換会では、近隣消防本部間で実施している救助活動の方法や使用資器材を公開し、訓練後に意見交換会を行うことで、新たな知識・技術の習得及び救助隊員としての士気の高揚を図ることができました。

また、合同訓練を行うことで更なる連携強化ができ、有意義な救助技術交換会となりました。



【訓練報告の様子】



【高所救出訓練の様子】

◆ 多言語に対応した119番通報受信訓練・救急隊現場対応訓練を実施

美方広域消防本部（兵庫）

美方広域消防本部では、令和元年11月25日（月）、管内小学校の英語指導助手（ALT）に協力していただき、119番通報受信訓練及び救急隊現場対応訓練を実施しました。

当消防本部では、令和元年10月1日（火）から、多言語による3者間同時通訳サービスを開始しています。



【訓練の様子】

現在のところ、外国語による通報等はありませんが、いざという時に備え、「突然胸が苦しくなった」、「スノーボードで転倒した」という2想定で、訓練を行いました。通訳を介しての3者通話ということで、普段の活動と違い戸惑う場面もありましたが無事終了しました。

この訓練を通じて、外国人（語）に対する119番受信対応、現場対応スキルを向上することができ、大変有意義な訓練となりました。

◆ C災害発生に伴う多数傷病者対応活動訓練を実施

東山梨行政事務組合東山梨消防本部（山梨）

東山梨行政事務組合東山梨消防本部では、令和元年11月25日（月）及び11月26日（火）の2日間、C災害発生に伴う多数傷病者対応活動訓練を実施しました。

近年、世界各地でテロ災害が発生し、日本国内においても、大規模イベント開催時などを狙ったテロの発生が危惧されています。そのため、特殊災害（C災害）による多数傷病者発生時の対応について、統制された指揮命令系統を確立し、活動隊間の意思疎通、情報共有等を図りました。

今後も、継続的に訓練を重ね、更なる対応力の向上を図っていきます。



【訓練の様子】

◆ 多数傷病者対応訓練を実施

伊万里・有田消防本部（佐賀）

伊万里・有田消防本部では、令和元年11月27日（水）、管内の公的医療機関である伊万里有田共立病院において、消防、医療機関、DMAT、看護学校、福祉事務所及び警察署の6機関が参加した多数傷病者対応訓練を実施しました。

この訓練では、震度6の地震が発生したことにより、列車が脱線横転し多数の傷病者が発生したとの想定で訓練を実施しました。

災害現場での救急・救助活動と傷病者のトリアージ及び搬送訓練並びに医療機関内での受け入れ訓練を並行して実施し、実災害発生時の対応を確認するとともに、関係機関相互の連携強化を図りました。



【トリアージの様子】



【指揮本部の様子】

◆ 緊急退避要領訓練を実施

入間東部地区事務組合消防本部（埼玉）

入間東部地区事務組合消防本部では、令和元年11月28日（木）、警防活動研修の一環として緊急退避要領訓練を実施しました。

この訓練は、セルフレスキューの重要性を理解するとともに、安全管理の意識を向上させること等を目的として実施しました。内容は、防火衣、空気呼吸器を完全装着した状態で狭隘空間を通過する要領と、迷路室内に充水したホースを延長し、筒先からホースを辿って室外に退出する要領で訓練を行いました。

火災現場で消防職員が受傷する事故が後を絶たないなか、緊急時の対応策を習得するとともに、安全管理の意識向上を図るため訓練を継続していきます。



【訓練の様子】

◆ 東京外環自動車道消防連絡協議会合同訓練を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和元年11月29日（金）、川口オートレース場駐車場において、関係機関との連携強化を目的とした合同訓練を実施しました。

当訓練には、東京外環自動車道消防連絡協議会会員である川口市消防局、三郷市消防本部、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部、戸田市消防本部、さいたま市消防局、草加八潮消防局、松戸市消防局、東京消防庁、東日本高速道路株式会社関東支社三郷管理事務所の9機関と、埼玉県警察本部高速道路交通警察隊及び川口市立看護専門学校の合計11機関が参加しました。

当訓練は、マイクロバスを含む車両複数台の事故による多数傷病者対応をメインとした第1想定と、多重追突事故により発生した脱出不能者の救出をメインとした第2想定との2部構成で実施しました。両想定とも現場到着から傷病者搬送までの各機関が連携した活動を実施することで、更なる連携強化を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 爆弾テロによる多数傷病者対応連携訓練を実施

中城北中城消防本部（沖縄）

中城北中城消防本部では、令和元年11月30日（土）、中部徳洲会病院（JCI認定取得病院）を大量傷者救護所と想定し、テロ対応訓練をドクターヘリ、近隣病院（DMAT・ドクターカー）、警察及び関係機関と共に総勢171名（負傷者役45名を含む）によりを実施しました。

訓練は、爆弾テロにより多数の負傷者が発生したとの想定で実施しました。テロ発生時の指揮本部の適切な運営、救急指揮対応力の向上及び受援体制の強化を図るとともに、SALT法によるトリアージ、止血、救護や情報伝達等の実践的な訓練を実施しました。



【連携訓練の様子】

研 修 等

◆ 鉄道事故に関する勉強会を開催

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和元年11月27日（水）、井原鉄道株式会社様のご協力のもと、鉄道事故に関する勉強会を開催しました。

今回の勉強会は、昨年に引き続き2回目の開催であり、はじめに事故発生時の注意事項、事故対応方法の講義を受け、実車による車両の特徴や避難器具・危険箇所の説明を受けました。その後、線路に移動し高架上の救出ポイント等の確認を行いました。

いざという時に消防機関として災害対応できるよう、引き続き鉄道事故に関する勉強会を継続してまいります。



【勉強会の様子】

◆ 若手職員のための火災原因調査研修を実施

印西地区消防組合消防本部（千葉）

印西地区消防組合消防本部では、令和元年11月28日（木）、当消防本部火災調査室・実験室において、拝命10年未満の職員14名を対象に、火災原因調査研修を実施しました。

この研修は、火災件数が減少傾向にあり、火災調査の機会が減っていることや、団塊世代の大量退職によって火災調査技術の低下が懸念されていることから、若手職員を中心に火災調査に触れる機会を提供し、知識・技術の向上を図ることを目的とするものです。

研修内容は、火災の出火原因となりやすい微小火源（たばこ、配線の短絡など）に絞り、実験後に、「なぜ火がついたのか、なぜ火がつかなかったのか」等のディスカッションを実施し、職員自らが火災のメカニズムを導き出すことで、現場での着眼点等を養いました。

研修を少人数制としたことで、活発な意見や質疑も上がり、一人ひとりに行き届いた指導を行うことができ、手ごたえのある研修になりました。

今回の研修では、管轄警察署、県内消防本部の方も参加していただき、火災知識の再確認、円滑な現場活動のための関係強化及び知識の共有を図ることができました。



【ごみ箱の燃焼実験の様子】



【微小火源の実験の様子】

◆ 現場活動にかかるストレス対策研修会を開催

大牟田市消防本部（福岡）

大牟田市消防本部では、令和元年11月28日（木）、消防安全衛生委員会の研修計画に基づき、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会のご支援により、現場活動にかかるストレス対策研修会を開催しました。

講師には、総務省消防庁緊急時メンタルサポートチームメンバーとして、数々の災害現場でご活躍されている、兵庫県こころのケアセンター研究主幹の大澤智子氏をお招きしました。主に惨事ストレスについての正しい知識や対策について、全職員が共通認識を持って業務に取り組むことを目的に、ご講義いただきました。

講義では、実体験に基づく消防職員の生の声をご紹介いただき、組織全体での見守り力、共感力の重要性を改めて実感したところです。

今後も、全職員を対象とした研修会を継続的に実施し、職場環境の向上を目指します。



【研修会の様子】

◆ 救急技術発表会を開催

桑名市消防本部（三重）

桑名市消防本部では、令和元年11月29日（金）、いなべ消防署において、いなべ方面救急技術発表会を開催しました。



【訓練の様子】

この訓練は「傷病者の搬送及び受け入れの実施に関する基準」及び「桑名地域病院前救護プロトコル」を遵守し、適切な救急活動が行われているかを検討するため、付与された想定に対しての救急活動を各所属救急隊が発表したものです。

救急活動終了後には、管内救急輪番病院の医師及び指導救命士とともに検討会を実施し、よりよい救急活動について確認することができました。

◆ 三消防本部合同による魚沼地域救急技術発表会を開催

魚沼地域メディカルコントロール協議会（新潟）

魚沼市消防本部、南魚沼市消防本部及び十日町地域消防本部の三消防本部と救急にかかわる医療機関、保健所等で構成する魚沼地域メディカルコントロール協議会（以下「地域MC」という。）では、令和元年11月30日（土）、十日町地域消防本部において、市民を交えた「救急技術発表会」を開催しました。

各消防本部代表者と地域MCに関わる医師を解説者として、緊急性の高い疾患を題材とした疑似想定を3症例提示し、救急要請や救急隊の活動について分かりやすく説明を行いました。さらに、軽症者搬送の多い実状を踏まえた救急車の適正利用等について講座を設け、集まった市民と意見交換も行いました。

市民の方からは、「AEDの使用可能施設を増やしてほしい」、「救急隊はどんな活動をするのか理解できた」などの意見や感想を聞くことができました。

今後も、地域MC事業として、三消防本部合同での病院前救護における適切な市民啓発を継続してまいります。



【救急技術発表会の様子】

その他

◆ 夜間合同査察を実施

吉川松伏消防組合消防本部（埼玉）

吉川松伏消防組合消防本部では、令和元年11月29日（金）、吉川駅周辺の雑居ビルにおいて、埼玉県吉川警察署と合同で、無通告による夜間合同査察を実施しました。

当査察では、9棟の防火対象物のうち、飲食店等計21店舗に対して立入検査を実施し、避難階段や廊下などの避難施設や自動火災報知設備など、適切な維持管理にポイントを絞った指導を行いました。また、避難障害などの違反があった9件のうち6件は、即時是正により、建物利用者の安全を確保することができました。残り3件については、建物関係者に違反事項の重大さを説明し、早期改善に向け指導しています。

今後も、関係機関との連携を図り、避難施設や警報設備などの維持管理の徹底を指導し、人命危険の排除及び火災予防対策の強化を推進してまいります。



【合同査察の様子】

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍・推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号（4/25発刊）を参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石井

原稿データは、kikachosei@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字程度（160文字以内）で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：情報管理課 渋谷

原稿データは、joho-sys@fcaj.gr.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

TEL：03-3234-1321 / E-mail：weekly@fcaj.gr.jp

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 清田